まんのう町地域公共交通協議会（香川県まんのう町）

総合事業

概　要

デマンドタクシーと路線バスの共通パス券で利用促進実現！

まんのう町には鉄道（JR土讃線、琴電琴平線）、路線バス（地域間幹線：琴参バス）等の公共交通機関があり、デマンドタクシーの導入及び共通パス券の発行等により相互の連携強化を図りながら、住民のニーズに対応した効率的で利便性の高い公共交通サービスの確保を目指している。

デマンドタクシーの実証運行

- バス・乗合タクシー等の活性化・再生に係る事業として平成21年11月より実証運行を開始。満濃・仲南・琴南の各エリアごとにタクシー事業者1社が10人乗りのワゴンタクシーを各1台、合計18便運行。片道300円で自宅から町内の病院やスーパー、公共施設、鉄道駅等を結ぶ。
- 登録者は平成24年4月現在、約1100名。60才以上の利用者が全体の9割を占め、通院に利用する人が利用者全体の約6割、買い物に利用する人は利用者全体の約2割。
- 実証運行を行う中で、問題点の検証、事業の見直しを行った結果、乗継便の廃止、運行区域の変更（琴南号の満濃地区乗り入れ）等を行い、平成24年4月より町の事業として本格運行開始。

共通パス券の発行

- デマンドタクシーは10枚綴りの乗車券を販売。町商工会の協力により、町内全域での購入が可能となり、交通弱者の利便性が向上。
- デマンドタクシーと路線バス（琴参バス：美合線、炭所線）を自由に利用できる共通パス券（1ヶ月3000円）を販売することにより、路線バスの利用促進や公共交通利用者の運賃負担の軽減が図れた。

実証運行区域図

四国中央市地域公共交通活性化協議会　(愛媛県四国中央市)

総合事業

概　要

バスでサービスできない山あい地域へのデマンド型乗合タクシーの導入と鉄道･幹線バスとの連携！

四国中央市は、平野部が狭小で谷筋が多い地域である。路線型交通ではバス停までの位置が遠い地域などをカバーする事ができないことから、一定の区域ごとに「デマンド型（予約型）の乗合タクシー」を運行することにより、高齢者等の交通弱者の安価な移動手段を確保し、生活利便性の向上を図るとともに、活動範囲の拡大や社会参加の機会増大など住民福祉の向上につなげている。

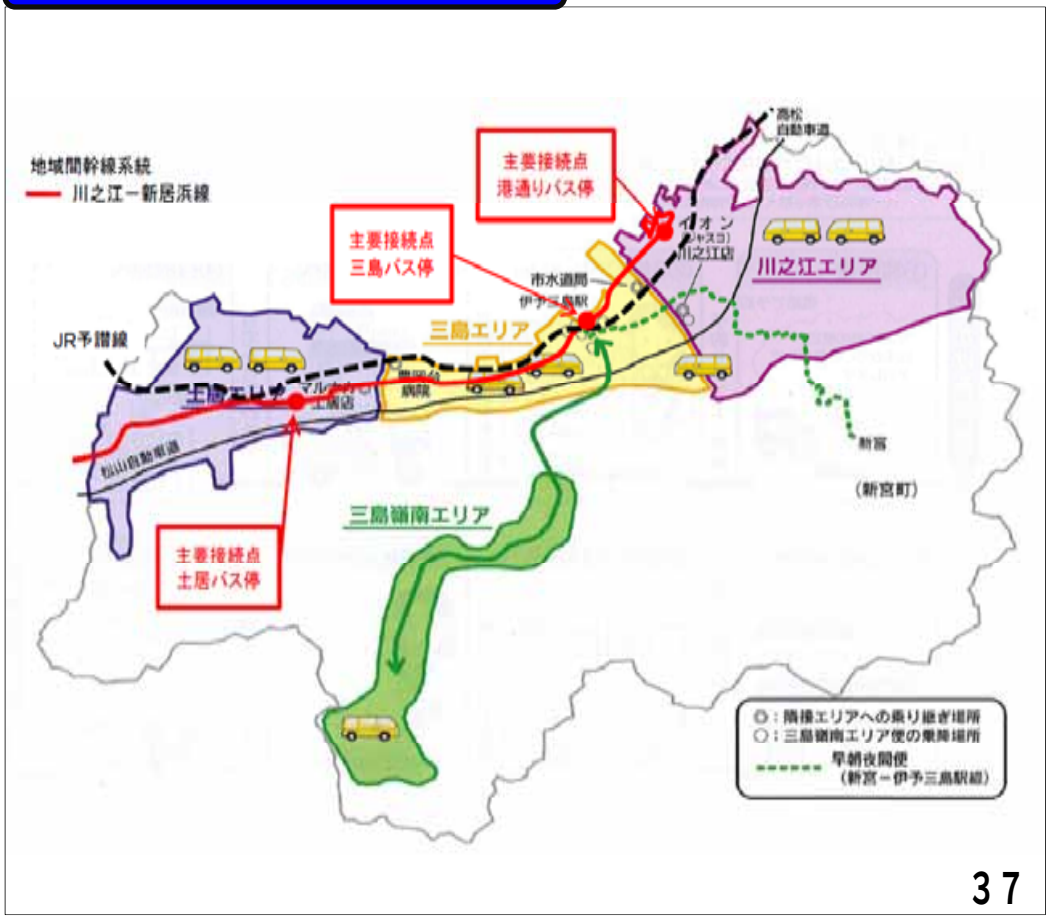
事業の概要

- 公共交通の空白地域の解消をめざし、地域間幹線系統である「川之江－新居浜線」に接続する形で、地域内フィーダー路線5系統を設定し運行している。
- 各エリア内の移動はデマンド型乗合タクシー、エリア間の移動は鉄道･路線バスの役割分担を図り、各エリアにデマンド型乗合タクシーと鉄道･路線バスとの乗り継ぎ拠点を設定するなど、通院･買物等のための市内での交通手段としてネットワークを構築。
- 土居、三島、川之江の3エリアでは、30分前までの予約（始発便を除く）を可能とすることで、利用者の利便性を高めている。

その他の取組み

- 住民へのアンケートやパンフレットによる周知活動、利用者ニーズにあったダイヤ設定など、積極的な利用促進策を実施。
- 乗り継ぎ拠点において、乗り継ぎ環境の改善（待合上屋の整備等）を検討。

デマンドタクシー運行系統図



特定非営利活動法人　こやだいら　（徳島県美馬市）

概　要　NPOの過疎地有償サービスで、行政に頼らない住民の支え合いネットワークを実現！

美馬市の「木屋平（こやだいら）地区は、1，500㍍級の山々に囲まれた地域。かつて、旧木屋平村ではタクシーを貸し切り高齢者を診療所に送迎していたが、市町村合併をきっかけに廃止され、高齢者の移動手段の確保が急務となっていた。そこで、行政のタクシー送迎制度に代わり、道路運送法のNPO過疎地有償運送の制度を用いて、住民同士が助け合う形の持続可能性の高い交通システムを作り上げている。

NPOによる有償運送の概要

- ●運行開始は平成20年4月1日。
- ●地区内の診療所や地区外（市中心部）への送迎を実施。
- ●地区内で会員登録を募り、高齢者や運転免許を持たない会員をボランティア運転を行える会員が運送。

※平成23年2月1日現在、会員数357名。
（うち、45名はボランティアで運転も行う会員）

- ●運送車両は、ボランティア運転会員の自家用車両。
- ●原則利用日の3日前の正午までに電話等による予約を行った会員に対して、その会員の自宅からの通院・買い物等への送迎をデマンド方式で行う。
- ●利用料金1キロ当たり130円。

特記事項

☆有償運送以外に農作業支援や高齢者の生活相談、地区内の清掃活動などにも取り組み、住民相互の支え合いのプラットホームになっている。

☆会員からの年会費と運送収入で事業経費を賄っており、補助金に頼らない運営を実現している。

美馬市図

交通の取り組みをきっかけに生活支援、地域づくりへと活動を展開。理想的な好循環

いの町地域公共交通活性化協議会　(高知県いの町)

確保維持改善事業

概　要　高齢化の進む中山間地域に最適なフィーダー交通として、デマンドタクシーを導入、外出機会を創出！

いの町は、**南北に長く、東南部を除くとほぼ全域が山地である。公共交通は、**JR土讃線、路面電車、路線バス、町営バスが運行しているが**町東南部に集中**しており、中山間地域は、廃止代替バスのみの運行となっていた。中山間地域における持続可能で利用しやすい公共交通を確立するため、平成２４年度上期から**町内3地域でデマンド型の乗合タクシーを実施**することとしている。

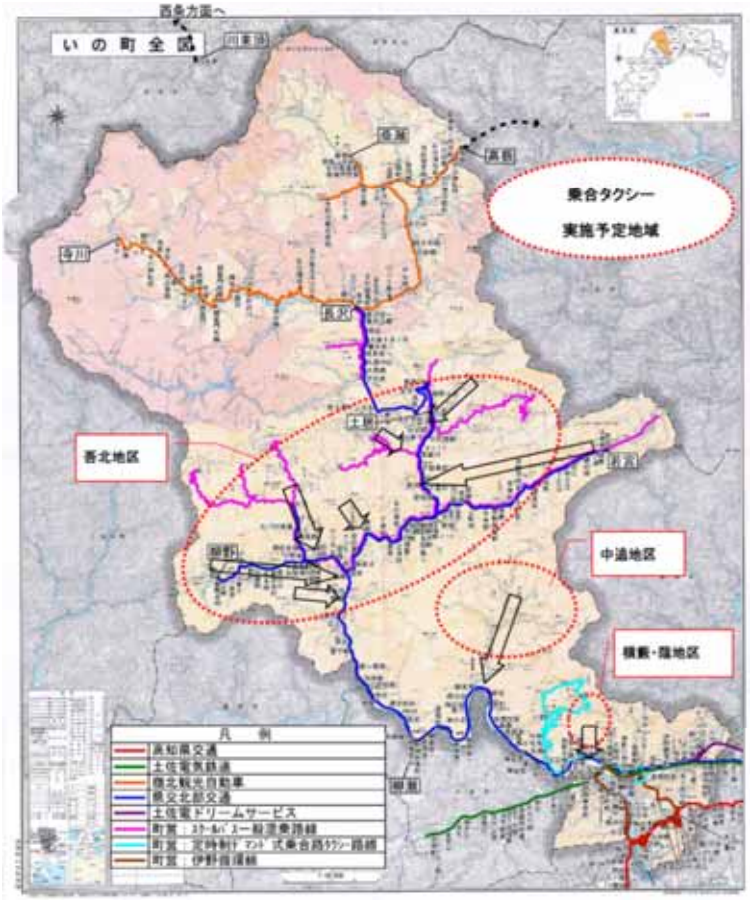
フィーダー系統確保維持事業の目標

・高齢化が著しい中山間地域等の移動手段を確保し、地域での生活を守ることを目的として、地域間幹線系統とつなぐ地域内フィーダー系統を継続的に運行し、公共交通空白地域を解消し、週2回は自由に移動できる公共交通の確保を目指す。

フィーダー系統確保維持事業の概要

・町内の交通手段として地域間交通ネットワークを補完するため、地域間幹線系統の最寄りのバス停留所までのアクセスが不便な地域について、地域内フィーダー系統としてデマンド型乗合タクシーを設定。

・具体的には、町内の吾北地区、中追地区、横藪・蔭地区の3地区について、㈱県交北部交通の最寄りの路線バス停留所まで、地元タクシー会社に運行を委託して乗合タクシーを運行。

・乗合タクシーの料金は一人一乗車３００円。予約は、前日の午後7時までに氏名、乗車人数、乗降場所、接続するバスの時刻等を連絡。

地域内フィーダー系統路線（イメージ図）